

第1回松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会 会議録

1 開催日時 令和6年8月7日(水) 午後2時から午後3時30分まで

2 場 所 松本市役所東庁舎議員協議会室

3 出席委員 会 長 新井 喜代加 氏
副会長 横内 俊哉 氏
委 員 常田 光弘 氏
委 員 小林 珠美 氏
委 員 柄澤 深 氏
委 員 青山 織人 氏
委 員 藤野 一男 氏

(オブザーバー) 荒井 英治郎 松本市教育顧問

(校長会代理出席) 中川 満英 会長(鉢盛中学校)、輿 幸雄 副会長(筑摩野中学校)

4 事務局 伊佐治教育長、赤羽次長、坂口教育監、逸見住民自治局長、小口文化観光部長、大島スポーツ本部長、勝家地域づくりセンター長、山本スポーツ事業推進課長、清澤文化振興課長、小西教育政策課長、清沢学校教育課長、西澤学校教育課施設担当課長、廣田生涯学習課長、横山学校教育課施設担当課長補佐、幅部活動地域移行統括コーディネーター、高山学校支援室指導主事、齋藤スポーツ事業推進課係長、傘木文化振興課係長、上嶋生涯学習課係長、中島スポーツ事業推進課主事、脇谷文化振興課主事、篠田学校教育課主事、浅井生涯学習課主事、降旗教育政策課長補佐、竹内教育政策課主査、千賀教育政策課主査、

< 会議事項 >

移行検討協議会役員選出

会長：松本大学人間健康学部スポーツ健康学科准教授 新井 喜代加 氏

副会長：市スポーツ協会事務局長 横内 俊哉 氏

地域移行の進め方および令和6年度の支援策について

小西教育政策課長が説明。

委員からの意見なし。了承。

令和5年度部活動地域移行に関わるモデル事業の成果と課題について

幅総括コーディネーターが説明。

委員からの意見なし。了承。

課題管理表の対応状況について
降旗教育政策課長補佐が説明。

- (委員) 課題No.27の山間部の学校とはどこを指しているのか？
(降旗補佐) 奈川、大野川、安曇、会田の4校を指している。

「地域クラブ」の新たなネーミングの募集結果について
降旗教育政策課長補佐が説明。

- (委員) 2月5日の協議会資料には地域クラブの名称はそのままにしておいた方が良いと記載がある。私も変更しないほうが良いと思っている。生徒さんの回答率は3.82%でネーミングにさほど関心はないと思う。前回の協議会で委員の意見はどのように捉えているのか？

(伊佐治教育長)

アンケートの回答率は決して高くはないが、回答してくれた児童生徒の皆さんの気持ちを重く受け止めたい。これから周知していくなかで、親しみやすい名前で地域クラブを広めていきたい。

- (委員) 子どもチャレンジだとベネッセのイメージが強くて、どうかなと思う。
(降旗補佐) たしかに「こどもちゃれんじ」は文字商標として登録されているが、利用については、事前にベネッセにも確認している。「松本子どもチャレンジクラブ」であれば、完全一致の表記ではないため、利用しても問題ないとの回答をもらっている。

松本市地域クラブ創設支援補助金交付要綱について
齋藤スポーツ事業推進課係長が説明。

- (委員) 補助金を受ける側の視点で話すと、交付要件は受ける側としてはざっくりしている方がありがたいが、対象経費についてはこのままの表現で要綱を作るのか？申請したときに、これは対象にならないと言われると困ると思う。

(齋藤係長) 対象経費については、交付要綱に細かい部分を加えて作成する予定。

(委員) 地域クラブになれる要件はどうなっているか？

(伊佐治教育長)

当初は認定という考え方があったが、認定要件を厳しくすることは良くないと考えている。認定ではなく、団体を一覧表としてホームページに掲載する予定。

- (委員) 補助金要件として、「5名以上」とあるが、新規団体は軌道に乗るまでが大事だと思う。初年度は5人いたが、2年目には5人いなかった場合はどうなるか？

(齋藤係長) 2年目に5人いない場合は、補助金の対象外となる。

- (委員) 要綱に補助対象についてはしっかり決めておいた方が良い。資料の「子どものニーズを十分に把握」、「多様に展開」は抽象的すぎる。具体的に

明記したほうが良い。

文化系部活動のクラブ移行体制の検討状況について

傘木文化振興課係長が説明。

- (委員) 兼職兼業はどういったものか？先生が引き続き行うということか？その場合、休日も地域の方がやっているような、先生の報酬の補償のようなものがあるのか？
- (教育監) 引き続き指導いただける場合は、兼職兼業届を提出すれば、クラブの指導もできる。報酬も出る。これまで部活動で担っていたものは、ほぼボランティアだったが、地域クラブを担っていただく場合は報酬を支払って指導してもらおう。
- (委員) 先生の報酬はどこから支出するのか？地域クラブから？教育委員会から？
- (教育監) 地域クラブから支払うことになると考えている。運営資金が必要となるので、子どもたちから一定程度の活動費を徴収していくことになる。

施設利用・管理の在り方について

横山学校教育課長補佐が説明。

- (委員) スポーツ施設、学校施設の現状と課題は報告があったが、文化施設、公民館の現状と課題はどうなっているのか？
- (横山補佐)
吹奏楽の整理は整ってきているが、文化施設、公民館については整理されていない。これから進める予定です。
- (委員) 減免額50%とあるが、これは決定済みの内容か？
- (清澤課長)
小中学生が使う場合は50%減免としている。今後地域クラブもこれに準拠して検討していく。
- (委員) 優先予約は行うのか？学校施設を優先的に使うのはわかるが、音楽文化ホールの予約は抽選となっている。それを優先するのは無理がある。金額自体は安くはない。果たして活用されるのか？芸術館は13カ月前予約となっているが、対応がうまくとれるのか？
- (清澤課長) 優先予約についてはまだ検討できていないが、今のところは優先予約はしない予定。
- (委員) どの施設でも年間予約ができるのか？施設によっては2ヵ月や13ヵ月など、まちまちである。社会体育に息子が所属しているが、小刻みに予約を取る必要がある場合は連絡も煩雑になってしまう。そのあたり、予約のできる期間をある程度揃えたほうが良いと思うがいかがか？
- (山本課長) スポーツ施設は一回の予約で3回分までとなっているが、学校の施設については2ヵ月ごと予約する方式となっていて、地域クラブのみを優先することはできない。いずれにしてもスポーツの団体数がかなり多く、現状で

も週末は予約が取れない状況。現在利用している団体からはご理解をいただきながら、模索しながら進めたいと考えている。

(委員) それぞれの施設ごと、予約のリストアップは可能か？

(山本課長) できると思う。

(委員) どこで活動するのか？何時から活動するのか？は保護者として気になるところ。活動の場所については、松本市内として限定されているのか？場所によっては隣接する市町村の方が行きやすいこともある。近隣市町村の金額も合わせてほしい。

(山本課長) 近隣市町村の料金をこちらで決めることはできないが、連携しながら相談しながら進めていければと思っている。現状は難しい。

部活動の地域クラブ活動への移行に係るアンケート調査の実施について
幅総括コーディネーターが説明。

委員からの意見なし。了承。

(閉会)